

## 第131回倫理委員会 報告

【日時】2026年6月6日(土) 午後2時00分～

【場所】坂総合病院2階 カンファレンス室2

【出欠】委員 医師2名、宗教家1名、心理士1名、看護師2名、助産師1名、事務1名  
事務局 MSW1名、看護師1名、事務2名

### 【報告】

- ・第130回倫理委員会(26.04.04)
- ・看護師1名 当会議より参加

### 【議題】

#### 1. 臨床研究審査報告(別紙)

- ・本審査1件(説明者:医師)  
:「条件付き承認」とし、今回審査を行った研究実施計画書以外の研究に用いる文書について適切に作成することを条件とし、確認は事務局にて確認・審査とした。
- ・安全性報告1件(説明者:医師)  
:当院における抗がん剤の一般的な有害事象に対する管理体制について追加で説明・確認を行った。審査自体は中央一括審査済みのため、異論なしとした。

#### 《審査済み》

簡易1件、病院長報告事項2件、実施許可確認書1件、新規5件、  
他施設一括審査2件、終了報告2件、その他1件

:別紙の通り報告を行った。その中で委員より看護研究の「倫理的配慮」に関して、学会等で求められるのは分かるがいわゆるQC活動の範囲であれば一定の緩和を  
してはどうかとの疑義あり。

研究デザインの適正化や患者への配慮などまだ課題が多いことから、看護研究支援  
チームとも連携し立案のレベル向上を目指すこととした。

#### 2. 倫理委員会規定・内規の更新(別紙)

- 内規:外部委員の謝礼金について明文化した。  
異論なく、確認とした。
- 規定:倫理コンサルの手順について再構成を行った。  
「多職種での検討」について具体化を行い、事務局確認で承認する旨を確認した。

#### 3. 臨床研究審査標準業務手順書について

6月2日厚労省にて、国の倫理指針の改正についての合同会議あり。

厚生省HPの「指針改定に伴うガイダンス等に記載する内容の方向性について」を画面  
共有し、情報提供のみ行った。

手順書の改定に先駆け、内規を整備し中央一括審査に関する内容を整備した旨を共有し  
た。

#### 4. ACP 啓蒙活動

青森健生病院より当院使用のパンフレットなどの提供依頼あり。

現在、当院への病院訪問を希望されている。

質問事項別紙あり。

当院での姿勢を整理した。

- ・ ACP は認知機能が保たれた患者を対象に、余命が見込まれる段階での自己決定支援を目的としている。
- ・ 院内での統一的な運用は難しく、疾患別やチーム単位での取り組みが主流。
- ・ 患者や家族の心理的負担や希望を尊重しつつ、現場での導入・活用方法の工夫が必要。
- ・ ACP 関連資料はカラーPDFなどで配布し、気軽に利用できる環境整備が求められている。
- ・ ACP の普及には継続的な学習会や現場での共有が重要であり、今後も支援体制を強化していく方針。

6月17日の事務局の時間で顔合わせも兼ねて意見交換とする。

#### 5. その他 協議事項

\* 次回委員会日程 (偶数月の第1土曜に開催)

第132回委員会：2026年08月01日(土)、14時00分～ カンファ2

第133回委員会：2026年10月03日(土)、14時00分～ カンファ2